



The Voice 校長 インタビュー

神戸山手女子

予測不可能な時代に必要な学力・能力を育む

本校は2021年度より、母体である学校法人濱名山手学院の「他者を尊重しつつ、主体的・能動的に自らの人生を切り拓くことができる人間を世界に送り出す」という教育ミッションと、本校の建学の精神「自學自習・情操陶冶」のもと、教育改革をスタートさせました。

史と伝統を継承しつつ、予測できな
い未来社会において豊かで幸せな
人生を送るための学力・能力を培
う、「未来志向型女子教育」です。

平井正朗 校長先生

「未来型リーダーシップ」の育成を目標に掲げる
次代に対応した女性教育「山手ルネサンス」が始動

私立中高の英語科教諭、管理職等を経験。全国英語教育研究団体連合会理事(近畿地区)等を歴任。カリキュラム・マネジメントを軸とした大胆かつ組織的・多角的な学校改革でV字復活させる手腕が高く評価されている。2021年4月より現職。関西国際大学客員教授、大阪市教育委員、国際教育学会理事、全国芸術高等学校校長会理事を兼任。日課はホームページの「校長」ブログと、校門での朝のあいさつ。

卷之三

探究学習『やまでのまど』と
「探究的」な学習指導により

アダプティブ・ラーニングは、自

自習の時間が増えるといつても、成績が得られますが、単にシステム・教材を導入すればよいというものではありません。自ら学力を身につけるためには、その原動力となる興味・関心を持つことが大切です。それらを育む方法は多岐にわたり、AIを活用した学習アプリは、その二

に過ぎないので、そこで同校では、

葉は『Alice with self Navigation in Wonderland』。不思議の国、アリス

い未来社会において、自分の道を見
つけられるアリスを育てることを目
標とし、今の「自分」から「地域」
「日本」「世界」「未来の自分」へ
と段階的にテーマを広げていくこと
で、幅広い視野を育み、幸せな人
生を歩むためのスキルを身につけてい

卷之三

チーム濱名山手

これまで本校が力を入れてきた英語教育もさらに発展させていきます。現在、海外の学校との教科横断型のオンライン学習を検討中です。単なる交流ではなく、探究学習を取り入れることで、『使える英語』と

こんな学校です

地元、神戸元町商店街の方々の「女子にも高等教育を」という声から、大正13年に創設された伝統校です。創立97年目を迎えた2021年度より、「山手ルネサンス」をスローガンに掲げ、建学の精神である“自学自習・情操陶冶”的もと、新時代に求められる力を育む、未来志向型女子教育をスタートさせました。

大学受験に対応できる英語力をバラ
ンスよく養い、「未来型リーダーシッ
プ」を育みたいと考えています。
私は今年から本校に校長とし
て就任しましたが、実は昨年、教
員研修の一環として講演を依頼さ
れ、本校を訪れたのです。その際、
教員たちの「この学校を良くした
い」という強い思いをひしひしと
感じたことが、「校長として力を
尽くそう」という決断に至った理
由の一つです。

喜びを感じる心やさしい女性を育てたい。そして、他者を敬い、主体的・能動的に人生を切り拓く対話力を持ち、柔軟性に優れ、権威や立場にとらわれることのない、「未来型リーダーシップ」を發揮できる女性を送り出す学校へと進化したい。その志と決意を込めてスローガンを「山手ルネサンス」と定め、より具体的な教育ミッションとして「3つのC」、「Communication(対話・伝達)」「Consideration(熟慮・考察・思いやり)」「Commitment(参画・貢献)」を掲げました。

が、カリキュラム・マネジメント実践の重要性です。カリキュラム・マネジメントとは、教育課程を計画的・組織的に編成・実施・評価し、教育の質を向上させること。生徒ファーストを基調しながら、本校の特徴である面倒見のよさを“チーム濱名山手”として結集させ、カリキュラム・マネジメントを通じて、地域に開かれた学校づくりと、進路満足度100%を目指します。

古き良き伝統と新しい取り組みを一体化させ、学びという選択を与える、明るく楽しい女子校へと進化を遂げるためのキーワードとなるのが、生徒一人ひとりの目線に立つて、それぞれに合った学習教材・学習方法を選択する『アダプティブ・ラーニング（個別最適化学習）』です。そのため9月から、AIを搭載したアダプティブ・ラーニング教材を導入することを決めました。授業は、従来のような教員による講義と、アダプティブ・ラーニングを組み合わせた形で実施。その結果に応じた課題には、自宅学習にて取り組みます。システムを通じて教員が一人ひとりの進捗状況を把握することができます。シス